

「清流が育む、

豊かな未来を拓く県南の農林業」

～インフォメーション～



降雪・積雪期における
農業用排水路の
安全管理の徹底



農業水利施設電気料金
高騰緊急支援事業



冬山作業における
林業労働安全の確保



農事功績表彰で
緑白綬有功受賞！
木目澤夫妻



社会福祉法人ころんが
豊かなむらづくり顕彰
受賞！

ヘッドライン

関心のあるところをクリック！
該当ページに移動できます！

Jan 2023
Vol.3

農林業にまつわるニュースの福袋！



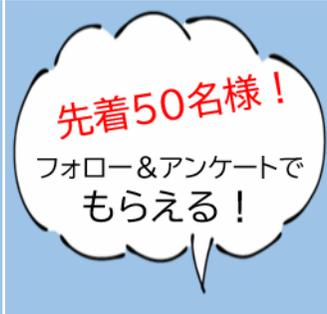
インボイス制度って
知っていますか？



いちごやニラの季節！



お問い合わせ



いたキャン！第3弾
県南管内産6次化商品
プレゼントキャンペーン

降雪・積雪期における 農業用排水路の安全管理の徹底

農業用排水路における人身事故は、かんがい期に限らず、積雪期に当たる11月以降においても近年増加傾向にあります。これは、除雪作業中の水路への転落事故が増加していることが原因の一つであると考えられます。

これから本格的な降雪・積雪の時期を迎える前に、以下の取組をお願いします。

- (1) 転落等のおそれがある水路の危険箇所の把握
- (2) 把握した危険箇所における速やかな応急対策の実施
- (3) 施設の点検・管理作業における作業従事者の安全対策の実施



上記の取組に加え、積雪により水路と路面の境界が分かりづらくなることから、歩行中や除雪作業時における転落事故を防ぐため、複数人による除雪作業の実施の徹底を水路へ転落した場合の備えとしてお願いします。



農業水利施設電気料金高騰緊急支援事業

新型コロナウイルス感染症の拡大、ロシアのウクライナ侵攻などにより世界経済は不安定な状況にあるとともに、農業経営を取り巻く情勢もコメ等の農産物価格の下落、燃料・農業資材の高騰により厳しさを増していることから、農業者等からの賦課金により運営する土地改良区への影響も少なくありません。

特に、電気料金の高騰は、揚水ポンプ等の農業水利施設を運転・管理する土地改良区の健全な運営に対する影響が大きく、こうした運転経費の急増は、受益者である農業者への賦課金の増額につながり、農業経営をさらにひっ迫させる事態を招きかねません。

そこで、土地改良区が所有または管理する農業水利施設の電気料金高騰に対して緊急支援します。



事業内容

- 1 対象
土地改良区が所有または管理する農業水利施設
(頭首工、揚水機場、排水機場等)
- 2 内容
かんがい期間(4月~10月)の過去の電気料金(5年平均)に対して、今年の超過した料金を補助





◎お問い合わせ先

県南農林事務所農村整備部
農地計画課

(電話0248-23-1582)

又は、

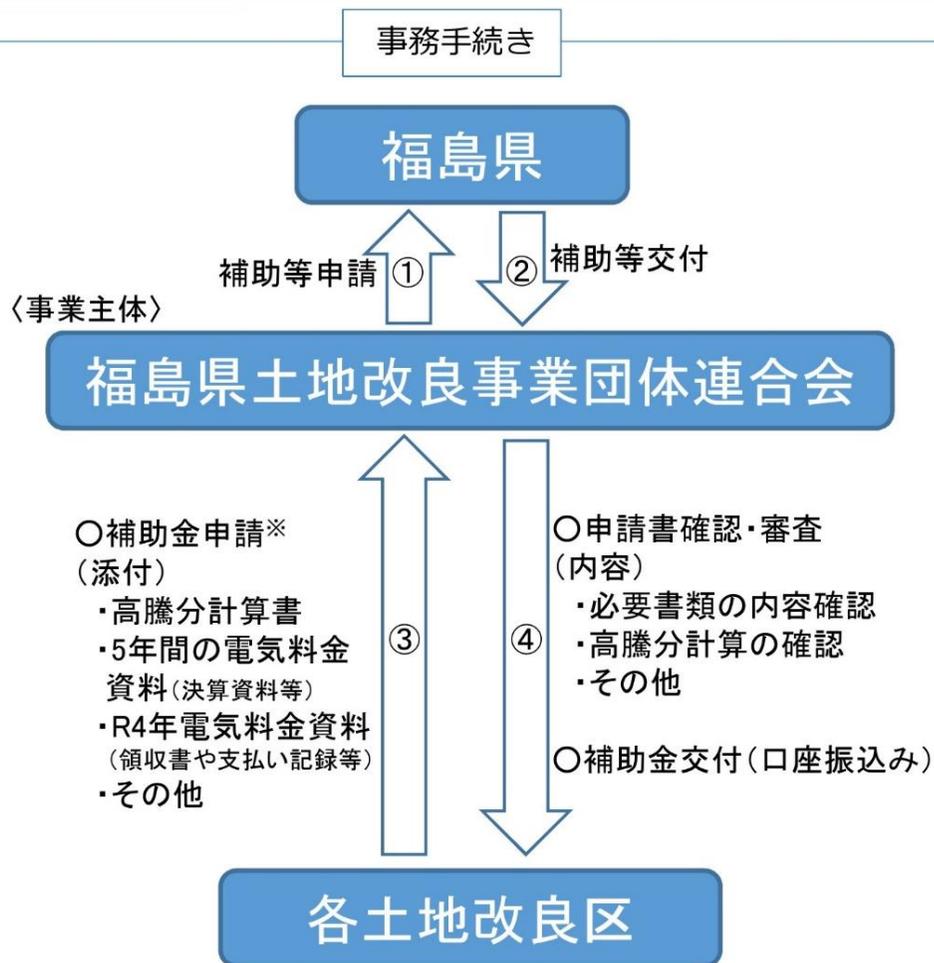
福島県土地改良事業団体連合会
施設管理課

(電話024-535-0419)

[ヘッドラインに戻る](#)

3 その他

- (1) 以下の事業を活用している施設であっても、支援対象経費を明確に分けたうえで、支援を受けることが可能
 - ・国営造成施設管理体制整備促進事業（体制整備）
 - ・基幹水利施設管理事業
- (2) 市町村が所有の施設は対象外
- (3) 単年度の緊急支援事業



※申請書様式及び添付書類は、記載例等を提供予定

冬山作業における 林業労働安全の確保

年度末に向けて事業量が増加するとともに、作業条件が一段と厳しくなる冬山作業の時期を迎えることから、労働安全の確保に万全を期す必要があります。

本県の林業労働災害発生状況は、10月末時点で25件と昨年の27件を下回っています。

林業関係事業及び森林土木事業の実施において、森林組合、林業事業者、建設業者等の事業者の皆様には、次の事項に留意され安全衛生活動の徹底をお願いします。



[ヘッドラインに戻る](#)



作業時のポイント！

- 積雪、凍結等により林内が滑りやすい状態になっていることから、**滑り止めを適切に着用**するとともに、林地の傾斜、積雪量、凍結状況等に十分配慮して**足場の確保**を図ること。
- 冬期は寒さのために身体が動きにくくなることから、**作業前は体操等により体をほぐす**とともに、手元、足元、周囲の確認など**常に変化する作業環境の把握と基本動作の遵守**をすること。
- 積雪期における伐倒作業に当たっては、**足元の確認、足場の確保**に加え、**頭上の状況を把握**すること。
- 車両の運転にあたっては、路面の凍結・積雪がある場合は、**速度、車間距離、ハンドル・ブレーキ操作に留意**し、**予め滑り止めを装着**するなどの措置を講ずること。
- 現場への**巡回指導の実施**や労働災害発生事例と防止対策等の**情報共有**を図ること。

農事功績表彰で木目澤夫妻が 緑白綬有功賞受賞！

12月2日、秋篠宮皇嗣殿下が総裁を務められる公益財団法人大日本農会の令和4年度農事功績者表彰において、緑白綬有功章を受章された泉崎村の木目澤次男・久實子御夫妻（写真中央）が、県南農林事務所を訪問されました。優秀な酪農経営の確立と地域農業の発展、若手農業者育成への貢献が顕著な功績として表彰されました。

一言メモ

「農事功績表彰事業」について

農事改良の奨励または実行上功績顕著な者、農業上の有益な発見または研究を行い功績顕著な者等に対し、総裁の御名をもって賞章及び賞状が授与される。主催は公益財団法人日本農会。（総裁は秋篠宮皇嗣殿下）明治27年(1894)から始まり、今回で第106回となった。

紫白綬有功賞、緑白綬有功賞、紅白綬有功賞の3種類の有功賞がある。

「緑白綬有功賞」とは
農業改良の奨励または実行上顕著な功績をあげ、地域農業の発展に貢献するとともに、現に農業経営に従事し、相応の農業所得を得ている者に対し授与される。



（写真左から）矢吹所長、木目澤次男氏、久實子氏、佐藤農業振興普及部長

社会福祉法人こころんが 豊かなむらづくり顕彰事業を受賞！

12月12日、泉崎村の社会福祉法人こころんが令和4年度豊かなむらづくり顕彰事業の受賞団体として公表されました。農福連携を通じて地域農業の振興と活性化に寄与している活動が高く評価されました。



オクラ収穫を万歳で祝う利用者とスタッフの皆さん



「豊かなむらづくり顕彰事業について」

豊かなむらづくり顕彰事業は、集落等におけるむらづくり及び農業生産活動において顕著な業績を収めている団体を表彰するとともに、その活動内容等を広く紹介することにより、地域ぐるみの連帯感の醸成及びコミュニティ機能の強化、農業生産活動の活性化を図り、農業・農村の健全な発展に資することを目的としている。

先着50名様！

フォロー&アンケートで
もらえる！



ヘッドラインに戻る

「おいしい ふくしま いただきます！」
キャンペーン第3弾！

県南管内産 6次化商品キャンペーン！

今年度のいたキャンもいよいよラスト！

今回は、御協力していただいた方に1,000円相当の6次化商品をプレゼントしちゃいます！
プレゼントは選べる5種！お早めにお越しください！

○日時

令和5年2月12日（日） 9:30~17:00

（商品がなくなり次第終了）

○場所

イオン白河西郷店 1階催事場

○キャンペーン内容

当事務所Instagram公式アカウントをフォロー！
会場でアンケートに回答して、商品をお選び下さい！



選べるプレゼントの詳細はこちら！

- ・「パスタセット」 そばパスタ（株式会社カタノ）×トマトソース（岡崎農園）
- ・「スイーツセット」 甘酒（山口こうじ店）×こんにやくスイーツARARE（ケーフーズ生田目）
- ・「辛口セット」 ガパオの素辛口（ゆうゆうファーム）×辛子味噌（藤野菜工房）
- ・「おつまみセット」 くんたま（こころん）×菊芋ピクルス（東日本薬草）
- ・「選べる高級ジャム」 ルバーブジャム（島田農園） または、ナツハゼの実ジャム（けんちゃんファーム）



インボイス制度って知ってますか？

インボイス制度が令和5年10月より始まります。これにより、買手は仕入税額控除の適用のために、原則として売手から交付を受けたインボイス（適格請求書）を保存する必要があり、売手はインボイスを交付するために、インボイス発行事業者の登録を受ける必要が生じます。

登録をしないと取引先にインボイスを交付できず、取引先は仕入税額控除ができなくなってしまうことになります。

インボイス制度を理解し、適切な対応ができるよう、税務署職員等を講師に管内の農業者向けの研修会を3回ほど開き、理解促進を図りました。



11月24日の農業者を対象とした研修会



12月13日の直売・加工者を対象とした研修会

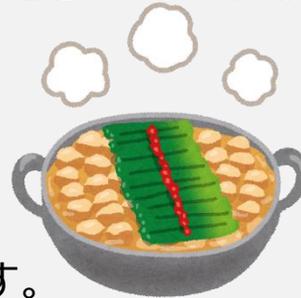
いちご（ゆうやけベリー）やニラの季節です！



冷たい風が吹き付ける時期になりましたが、このシーズンだからこそ味わえる農作物がありますので、ご紹介します。

まずは、福島県が10年もの月日をかけて開発したいちご「ゆうやけベリー」です。12月にデビューしたこの冬注目度ナンバーワン！のいちごです。

この品種は、夕焼けの橙色を感じさせる鮮やかな赤色で、大粒しかもとても甘いのが特徴です。まだ生産量が限られ、非常にレアものですので、お店で見かけたあなたはラッキーです！ぜひ、お買い上げいただき、口いっぱい広がる甘味をお楽しみください。



次は、鍋ではド定番！ニラです。

春に植えられた苗は、夏から秋にかけてすくすく育ち、根の中にたくさんの養分を蓄えます。養分をたくさん含んだ秋冬ニラは、甘くてみずみずしく、栄養満点です！！

農家さんが手塩にかけて育てた秋冬ニラをぜひご賞味下さい。



福島県農林水産部公式YouTubeチャンネル



見てくんつえ

ふくしまを応援する
『ペコ太郎』

しらかわ地方グリーン・ツーリズム 公式Instagram

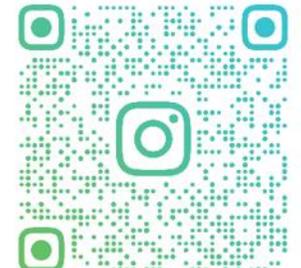


阿武隈川の源流から
生まれた水の妖精
「みなもん」



SHIRAKAWA_GT_03

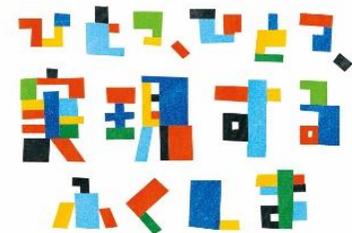
県南農林事務所公式 Instagram



KENNAN_NOURIN

お問い合わせ

福島県県南農林事務所 企画部 地域農林企画課
住所 福島県白河市昭和町269番地(白河合同庁舎4階)
TEL 0248-23-1576 FAX 0248-23-1590
ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>



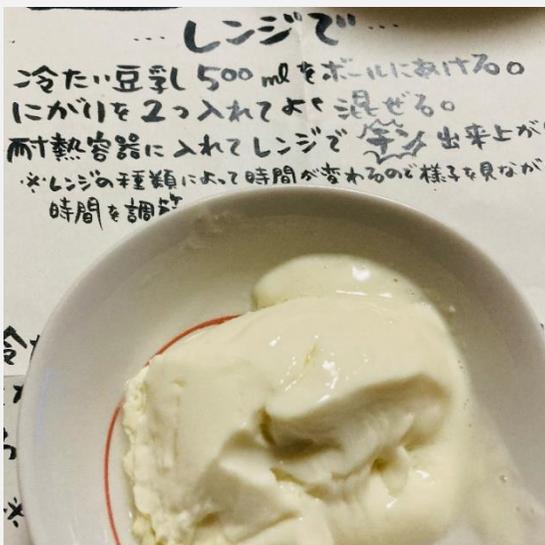
あけましておめでとうございます！

2022年のお正月を過ごしたばかりな気がしていましたが、2023年のお正月も過ぎてしまいました。歳を重ねると時間が経つのが早くなっている気がします。小学生の頃は1日1日がすごく長くて、十年先のことなんて想像できないくらい遠い未来のこの様に考えていたのに、この歳になると十年先のことも目先の心配事のように思えてくる…！これは「未来は今の積み重ね」を良くも悪くも体感してきたからかもしれません。（これが年の功というやつ？）



子が残してくれたサメクッキー
「海をお散歩中なんだよ」とのこと、
そんなことを言われると食べづらいよ…

手・まめ・館の豆乳で作ったとうふ
レンジで簡単においしくできた！



この広報誌も早Vol. 3。編集集中にいつも思うことは「県南農林だより」の発行回数47回、約10年という大きな背中。いつか追いつき追い越す日はくるのか?! 個人的には高校生になった子どもに「この広報誌、お母さんたちが創刊したんだよ!」って自慢したいから続くといいな! そんな除夜の鐘では消せなかった煩惱を抱えながら今日も編集作業に勤しんでいます。

超、不定期掲載。

担当者のつぶやき